

●ノルウェーでのコンサート



ハンブルクは珍しく青空の日々が続いています。

皆さんいかがお過ごしでいらっしゃいますか？

今回は、またメルマガの送信が予定よりかなり遅れてしまったことをどうぞお許し下さい。

2月15日、16日のオスロでの奉仕の後、16日教会が寒かったせいか、私は再び風邪をひいてしまいました。でも、ゆったりと一週間静養したお陰で、随分良くなりました。

オスロの奉仕のためにお祈りくださり、ほんとうにありがとうございます。ございました。

今日は、オスロでの奉仕の報告をさせていただきます。

写真：ノルウェー・クリスチャン新聞に載ったコンサートの案内記事

●ノルウェーという国

ノルウェーといえば、フィヨルドが美しいこと、私の大好きな作曲家、グリーグが生まれたこと、一昨年、皇太子が劇的な結婚をしたことくらいしか知りませんでした。

面積は日本と同じぐらいですが、人口は450万ほどということを知って驚きました。どうしてこれだけの人口で一国が成り立っているのか不思議ですが、隣国のデンマーク、スウェーデン、フィンランドの人口もそれほど大差はないのです。

また付加価値税の高さには驚きました。ドイツも16%と決して低くはありませんが、ノルウェーは23%です。人口が少ない分、消費も少ないので、物価は非常に高いのです。ものによってはドイツの3倍です。レストランでは一食4000~5000円が普通。けれども大自然に囲まれた美しいノルウェーは、夏は白夜、冬は長夜、いたるところにトナカイの姿、そして北へ行くと、神が天幕を広げたような華麗なオーロラが見られるのです。

♪2月15日(土) オスロ南自由教会讚美コンサート♪

コンサートには120名ほどの人が集まり、大変祝された会となりました。三分の一は日本人でした。ノルウェー日本大使ご夫妻もお忙しい中を駆けつけてくださいました。スペインでの、普通のクラシックコンサートには、日本大使もよく来てくださいましたが、伝道コンサートに大使ご夫妻が来てくださるのは画期的なことです。

「王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。」(モテテI、2:1) 常日頃から高い地位の人々のために祈ることを忘れてはいけなと、この時思わされました。

「心に浸みるコンサートでした。特に『ドロローサ』ではぐっときました。」とわざわざ言いに来たくださった日本人駐在員は、関東で工藤篤子音楽ミニストリーズの世話人をしてくださっているTさんと同じ会社からオスロに派遣された方でした。Tさんの、『彼がオスロのコンサートへ行きますように。』との日本からの祈りが聞かれたのでした。ここでも日欧の架け橋を感じました。

またコンサート後、たくさんのノルウェー人が日本語で話しかけてくるのには驚きました。彼らは日本に行っていた宣教師やそのご家族の方でした。こんなに人口の少ない国から、たくさんの宣教師たちが日本を愛し、遠い日本へ宣教に行ってくださいましたことを知って、胸が熱くなりました。

そういえば、埼玉県に新生宣教団を建て、中国文書伝道のために、一度に大量印刷のできる高性能印刷機を導入したのも、ロアルド・リーダルさんというノルウェー人です。バイキングの国ノルウェーは、伝道の面でも大きな底力を秘めた国なのかもしれません。

♪2月16日(日) 教会礼拝讃美♪

この日、モルテンスルード地区の、三つの教会の合同礼拝が行われました。国教会、自由教会、ペンテコステ教会という、一見、水と油の仲のようなタイプの教会です。でも、この三つの教会の牧師は仲が良く、定期的に共に祈り合っているそうです。そして年に3~4回、合同礼拝をしています。

会場は、設計賞をいくつも受賞した素晴らしい建物の国教会。会衆讃美はペンテコステ教会のチームがリードしてくれました。ここで私は2曲ほどソロで讃美させていただきました。

説教は、前日まで金槌を握って大工仕事をしていた南自由教会のロイド牧師でした。「信仰は生きているから流動的である。そして成長するためには訓練(試練)を受けなければならない。」一瞬、ドイツの母教会が今通過している試練のことを思いました。私は最近、このことで少し気持ちが重くなっていました。ロイド牧師の話は続きました。「種は小さいが、それは大きな力を持っている。例えばタンポポの種はすごい。ときには堅いアスファルトを突き抜けて生えてくるものもある。」聞いているうちに、うちの教会にも望みがあると思うようになりました。大切なことは神の力を信じて進むこと、タンポポだって、堅いアスファルトを突き抜けて生えるのだから。主を信じて祈り続けよう、と新たに信仰の奮い立たされた、素晴らしい聖日礼拝でした。

今週も主を見上げつつ歩みましょう。
主の祝福が皆様とともにありますように。

工藤篤子

お祈り下さい

1. 風邪の完治のために(度々ご心配おかけしてほんとうに申し訳ありません)
2. 以下のオランダ南部集会(3月15日、18日)とデュッセルドルフ日本語教会での奉仕(3月16日)、ドイツ伝道週間プロクリストでの讃美奉仕(3月23日)のために

■3月15日(土) 19:00開場、19:30開演

場所 Nederlands Gereformeerde Kerk Eindhoven

住所 Frederik Hendrikplein 35 Eindhoven

連絡先 ペイトン朝子さん Tel. +31-(0) 497-592090 Fax. +31-(0) 497-591389

最寄りの駅: Eindhoven (車で、アムステルダム、ケルン、ブラッセルより1時間半、アントワープより1時間)

■3月16日(日) デュッセルドルフ日本語キリスト教会礼拝讃美 11時

Paul-Schneider-Haus

Germaniastr.6-10

40223Duesseldorf

連絡先 安藤牧師 Tel.Fax 49-(0)2132-70772

■3月18日(火) オランダ南部集会、10時から12時半(その後、ひとり一品持ち寄り昼食会)

場所 Wilhelminalaan 25 Vessem Payton 朝子宅

Tel. +31-(0)497-592090 Fax. +31-(0)497-591389 最寄りの駅: Eindhoven、Tilburg

■3月23日(日) 9:30 プロクリストにて讃美と証し ローテンブルグ・ビュメ Realschule in

Rotenburg

【事務局よりお知らせ】

《工藤篤子と行くヨーロッパ讃美の旅》募集しています！

旅行期間：2003年6月19日(木)～28日(土)

旅行費用：378,000円

コース：関西空港～フランクフルト～ハイデルベルク～ローテンブルク～ニュルンベルク～フュッセン～ユングフラウ～

ユングフラウ・ヨッホ～チューリッヒ～アムステルダム～関空

お問い合わせ先：ホーリーランド・ツーリストセンター

住所：〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10 VIP 関西センター8F JEEQ 内

電話：06-6226-1307 FAX：06-6226-1308

Eメール：htcjrm@syd.odn.ne.jp